

## No.1 「ありがとうございます」

みなさん、おはようございます。校長先生の声は、みなさんの心に届いていますか？あらためまして、このたび東淀川区の大隅西小学校から転勤してきました、新しい校長先生 原 雅史と申します。どうぞよろしくお願ひします。

まず、大宮西にきて驚いたことがあります。それは、あいさつです。今朝も校区を自転車で見守っていますと、なんとみなさん児童の方から「おはようございます！」と何人もの人が言ってくれました。すばらしいです。お家人の人や今までの先生方の指導のおかげだと思いますが、校長先生、今までの学校で児童の方から「おはようございます」と言われたことがなかったので、とてもうれしく驚いています。2つめに、1年生のみなさん、入学式でもすばらしかったですが、今日もここへの入場、とても上手にできました。初めての児童朝会でこんなにかしこくできたのも、校長先生は見たことがありません。すばらしいですね。

さて、始業式でのなぞときの答え合わせからいきましょう。と+6がトラ、ということは6が「ラ」ですね。3+5がみそ、ということは3が「ミ」、5が「ソ」。7+そが？なので、7がわかれればいいのですが…。「ラ、ミ、ソ」何か気づきませんか？

ちなみに、5+4はソファです。5がソ、4がファです。あ！という気づきの声が何人かのおともだちから聞こえてきました。そう、このなぞとき、パッとみは算数に見えますが、実は音楽の問題なのです。数字を音楽の言葉ドレミに置き換えます1が「ド」、2が「レ」、3が「ミ」、4が「ファ」、5が「ソ」、6が「ラ」、7が「シ」ということなので、7+そは「しそ」が正解でした。

このボードには正解、惜しかった答えなどたくさんのお友達が書いてくれました。ありがとうございました。

先ほど述べましたように、大宮西の皆さんは、あいさつがとてもよくできますね。誰かに、何か

をしてもらったときに「ありがとうございます」もすっと出てくると思います。

では、世界ではこの「ありがとうございます」を何というのでしょうか。アメリカでは？「サンキュー」、いいですね。中国では？「シェイシェイ」よく知っていますね。では、世界一広い国ロシアでは？「スパシーバ」と言います。ではそのロシアと中国に挟まれたこのモンゴルという国では何というでしょうか。校長先生は昔、モンゴルを旅していたときに、不思議な体験をしましたよ。

まず、モンゴルという国ですが、日本の4倍ぐらいの広さですが、人口は300万人ぐらいですから、大阪市ぐらいですね。人々は、最近でこそ都会で暮らしていますが、少し前まではこのような大草原で馬や羊を飼い、家ではなくテントで生活しています。

校長先生がモンゴルを旅行していたとき、向こうの子どもに折り鶴を折ってあげました。それを受け取ったモンゴルの子どもは、うれしそうにニコッと笑うのですが、何もいいません。なぜ「ありがとうございます」って言わないでしょうか？本当は折り紙嫌いだったかな？それとも挨拶の苦手な子どもなのかな？ひょっとして、モンゴルには「ありがとうございます」という意味の言葉がないのではと思ってしらべましたらありました！「バヤルララー」というそうです。しかし、この言葉を街中で聞くことはめったにありません。

では、こちらから「バヤルララー」を言ってやろうとタイミングをうかがっていました。おまつりの屋台でホーショール（モンゴルの豚まん）を買ったときに、なんとおまけで1つ多くくれました。先生はすかさず「バヤルララー」と言いました。すると店員のおばちゃんはなぜかムッとしてました。

あとで、モンゴルの友人にきくと、モンゴルの人は「バヤルララう」を言わないし、言われることもないそうです。なぜでしょう？少し周りのお友達と聞きあってみましょう。これを校長室前のボードに書いてみてください。間違っていても構

いませんよ。考えることが大切なのですよ。

これで校長先生のお話しを終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。